

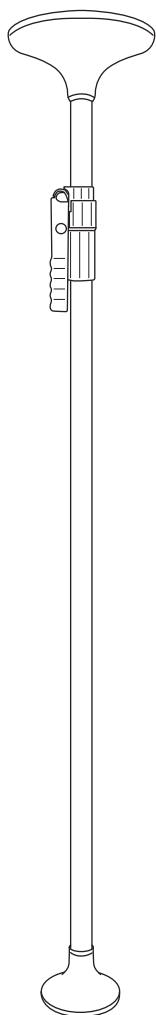
# Tacaof

品名 **つかまりポール（丸型）**

品番 **HUH08**

## 取扱説明書

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。  
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読みください。また、読まれたあとは大切に保管してください。  
製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。



### 目次

|            |        |
|------------|--------|
| ご使用前の注意    | 1～2P   |
| ご使用上の注意    | 2～3P   |
| お手入れ方法     | 3P     |
| 保管方法       | 3P     |
| 各部の名称と製品仕様 | 4P     |
| 設置場所（天井）   | 5P     |
| 設置場所（床）    | 6P     |
| 組み立て方      | 7P     |
| 設置前の注意     | 8P     |
| 設置方法       | 9～10P  |
| 設置後の注意     | 11～12P |
| 取りはずし方     | 12P    |
| 日常点検       | 13P    |
| 異常事態の対処法   | 14P    |

# 株式会社 幸和製作所

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町3丁159番地1  
TEL:072-238-0459  
<https://kowa-seisakusho.co.jp/>

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

## ご使用前の注意



### 警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 本製品に手すりを設置する場合は、「つかまりポール」シリーズ専用の手すりをご使用ください。
- 本製品は、ネジやクギなどを使用せず、天井と床の間を突っ張ることで空間に取り付ける仕様になっています。誤った組み立て、設置、使用は転倒やケガをするおそれがあります。
- 本製品を横向きに設置しないでください。
- 自分の力で危険から身を守ることができない方、使用方法が分からない方は使用しないでください。
- 使用前に、使用者の身体状態をかならず確認してください。使用者が自分の身体を安定させられない場合は、かならず介助者が付き添ってください。
- 設置可能な天井高さを確認してください。その範囲を超えたり下回る場合は、十分な設置強度を得ることができません。使用中に本体がはずれて、転倒やケガをするおそれがあります。
- 梁のない天井への設置はやめてください。十分な設置強度が得られないため危険です。本体がはずれて、転倒、ケガ、天井が破損する原因となります。
- 設置する床は、平らで、強度があり、安定した、かたい床面であることを確認してください。柔らかい床、マットや固定していない絨毯や毛足が長い絨毯の上への設置は、使用中に本体がズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- 部屋の敷居、畳の縁、スロープなどの、段差や傾斜がある床には設置しないでください。使用中に本体がズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- 床や天井に対して垂直に設置してください。斜めや横向き、上下反対に設置すると十分な設置強度が得ることができません。使用中に本体がズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- 設置時に、本体と周辺の家具や壁などとのすき間に十分注意してください。(P11「設置後の注意/周辺環境の確認」を確認してください。) すき間が6cm以下または25cm以上になるように設置してください。万が一、転倒・転落した場合でも、使用者が挟まれないような位置に設置し、すき間を確保してください。
- 本製品は屋内専用です。屋外では設置しないでください。
- 風呂場などの、水がかかる場所には設置しないでください。水分などで床や天井への固定部が滑り、本体がはずれることがあります。
- 使用時は、ロックネジが締められていることをかならず確認してください。パイプが動いて、本体がはずれてしまうことがあります。



### 注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 本製品は、「布団やベッドなどの寝具からの起き上がり動作」、座位からの「立ち上がり動作」や「移動動作」および「移乗動作」などを補助するためのものです。本来の用途以外に使用しないでください。破損やケガの原因となります。
- 製品が落下や転倒するなど強い衝撃を与えると、部品が破損して設置できなかったり、使用中にはずれてケガをするおそれがあります。



## 注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 設置・移動・取りはずしは、手順通りに行ってください。本体がはずれて、ケガをするおそれがあります。
- 全長が長いので持ち運びの際は、周囲にぶつからないよう十分注意してください。壁や家具など周辺のを破損することがあります。

## ご使用上の注意



## 警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 本製品は1人用です。2人以上同時に使用しないでください。
- 本製品に上方向への力を加えないでください。本体がズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- 固定盤に水などがかからないようにしてください。本体がズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。水などで濡れた場合は、十分に乾かしてから使用してください。
- パイプに水がかかったり、埃などが付着すると、サビの原因となります。速やかに拭き取ってください。
- 手が濡れた状態で、本体につかまらなないでください。手が滑って転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 本体にぶつかる、のぼる、ぶらさがる、勢いよく押す、引っ張るなどの強い衝撃を与えないでください。天井の破損、本体のズレやはずれにつながり、転倒やケガをするおそれがあります。
- 本体にもたれかからないでください。本体がズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- 本体に衣服などを引っかけたり、下固定盤でつまずかないよう注意してください。本体がズレたり、はずれて転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 下固定盤を足で踏んだ状態で、本体を引っ張らないでください。本体がズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- 下固定盤と床面との段差でつまずいて転倒するおそれがありますので、十分に注意してください。
- ものを吊るしたりしないでください。本体がはずれて転倒しケガをするおそれがあります。
- ストーブなど火気の近くで使用しないでください。本体の変形や火災の原因となります。
- かならず日常点検を行ってください。ネジやクギなどで固定していないため、本体がズレる可能性があります。
- 取りはずしの際、天井に上固定盤が貼り付いた場合は、急な落下に注意し速やかに取りはずしてください。上固定盤が落下し、ケガをするおそれがあります。
- 分解・改造・修理はしないでください。変形・破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。



## 注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 設置前の本製品を壁に立てかけたり、立てたままで置かないでください。本体が倒れて、本製品や周囲のものの破損の原因となります。
- 天井や床の材質の種類や長期間の設置によって、跡が残ったり、滑り止め材の色が移ることがあります。
- 設置した状態で固定盤が滑る場合は、使用をやめて、固定盤ごと交換してください。上・下固定盤は、長期間の使用により摩耗や劣化が発生し、滑り止め効果低下の原因となります。

## お手入れ方法

- 日常のお手入れの際は、水またはぬるま湯につけた柔らかい布を固く絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いた布でしっかりと水気を拭き取ってください。
- 汚れが目立つ場合は、薄めた中性洗剤をつけた柔らかい布を固く絞って汚れを拭き取ってください。その後、水またはぬるま湯につけ固く絞った布で洗剤成分を拭き取り、乾いた布でしっかりと水気を拭き取ってください。
- タワシや研磨剤入りのスポンジ、磨き粉などは使用しないでください。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。劣化や破損をまねくことがあります。

## 保管方法

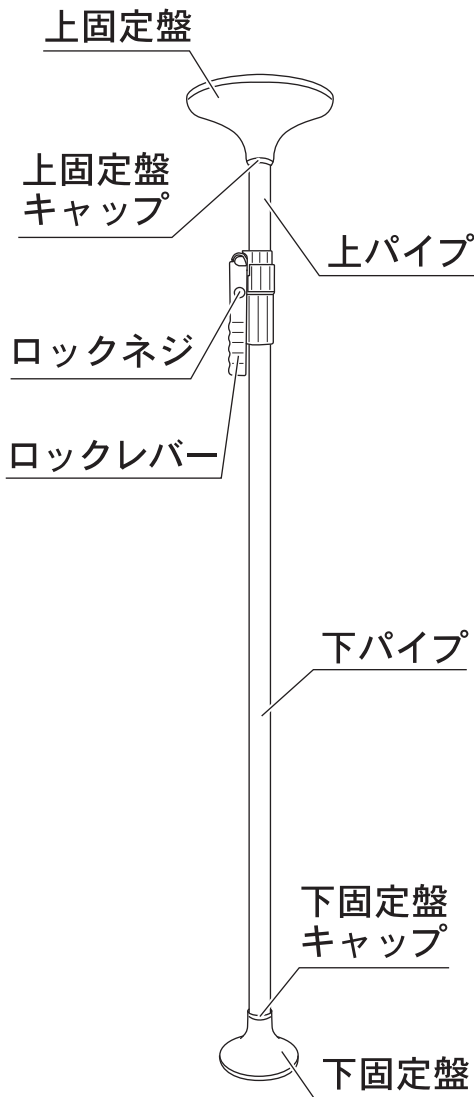
- 屋内に保管してください。
- 直射日光下、高温多湿な場所では保管しないでください。劣化、変形、変色の原因になります。
- 湿気の多い場所での保管は、サビやカビの原因となりますのでやめてください。
- 長期間使用しないときは、汚れを落とし、よく乾燥させてから保管してください。
- 本体を重ねたり立てた状態での保管は不安定ですのでしないでください。



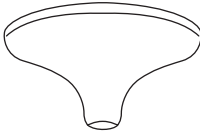



## 注意

- 本製品だけではなく、付属品である水平器も上記の通り保管してください。

## 各部の名称と製品仕様



付属品(はじめにご確認ください)

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 上・下パイプ<br>セット×1組   | 上固定盤<br>×1個   | 下固定盤<br>×1個  | 固定ネジ<br>×1本  |
|   | <br>(大) | <br>(小) |   |
| ロックネジ<br>×1本   | 水平器<br>×1個  | 平輪ゴム<br>×1本  | 六角レンチ<br>×1本   |
|  |        |         |  |

|        |                              |   |   |                              |
|--------|------------------------------|---|---|------------------------------|
| 組み立て寸法 | 幅280×奥行280<br>×高さ1800~3000mm | 重 | 量 | 4.1 kg                       |
| 対応天井高さ | 1m80cm~3m                    | 材 | 質 | 上固定盤 : ポリプロピレン<br>熱可塑性エラストマー |
|        |                              |   |   | 上・下パイプ : スチール                |
|        |                              |   |   | 下固定盤 : ポリプロピレン<br>熱可塑性エラストマー |
|        |                              |   |   | ロックレバー : スチール<br>熱可塑性エラストマー  |

※各寸法、重量は参考数値です。


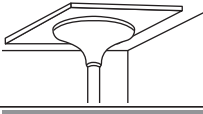
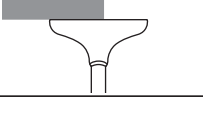
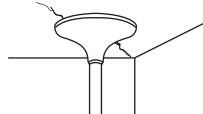
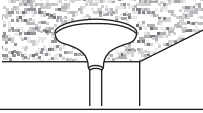
## 設置場所（天井）

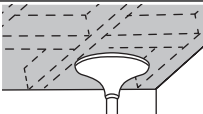
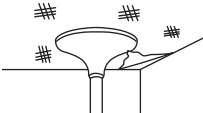
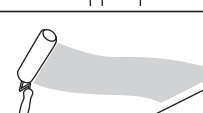
- 設置前には必ず天井の強度や状態を確認してください。
- 天井の端や角は、強度が弱い場合がありますので、設置の際は十分に注意してください。浮きがみられる場合は、梁のある場所や少し離れた場所に設置すると、強度が強くなる可能性があります。
- 対応天井高さは 1m80cm～ 3mです。必ず天井から床までの高さを確認してください。

### ■設置できない天井

下表の天井には設置しないでください。

天井の破損や、本体がズレたりはズレて転倒し、重大事故につながります。

| 本体がズレてはズれる可能性がある |   |  |
|------------------|---|--|
| 傾斜のある天井          |    | 上固定盤の一部しか天井と接しないため、突っ張り強度を確保できなかつたり、滑り止め効果が低下します。        |
| 簡易補強した天井         |   | 天井と上固定盤の間に補強板を挟むと、板がズれる可能性があります。                         |
| 段差のある天井          |  | 梁の上などに設置する場合、上固定盤の一部しか接しないため、滑り止め効果が低下し、十分な固定ができません。     |
| ヒビ割れがある天井        |  | ヒビ、キズ、雨漏り（腐食）があると上固定盤の滑り止め効果が低下します。また、天井の破損につながることもあります。 |
| 砂天井              |  | 砂地仕上げなどは、表面が崩れやすくなっています。                                 |

| 天井を破損する可能性がある         |   |   |
|-----------------------|---|---|
| 梁がない天井                |  | 天井強度がないため、十分な固定ができません。  |
| 経年劣化した天井              |  | 天井強度が低下し、十分な固定ができません。また壁紙・クロスの劣化、油分や湿気などによる粘着性により、滑り止めシートが貼り付く可能性があります。 |
| 漆や塗料など接着成分を含む塗装がされている |  | 塗装した天井（リフォームを含む）は、上固定盤が貼り付く可能性があります。                                    |

### ⚠️ 注意

- 天井の材質によっては滑り止めシートの色が移ったり、跡が残る可能性があります。
- 強い力で天井を突かないでください。天井が破損することがあります。


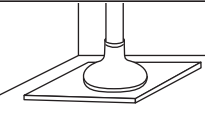


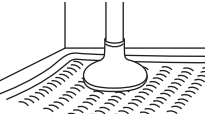
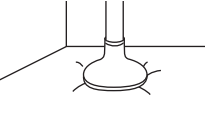
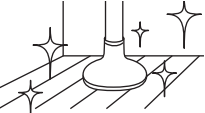
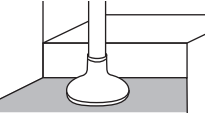

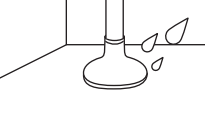
## 設置場所（床）

- 設置前には、必ず床の強度や状態を確認してください。  
手や足で床を押さえつけ、たわみがない場所に設置してください。
- 平らで、強度があり、安定した、かたい床面であることを確認してください。
- 設置前には、ほこりやゴミなどを取り除いてください。

### ■設置できない床

下表の床には設置しないでください。

床の破損や、本体がズレたりはずれて転倒し、重大事故につながります。

| 本体がズレてはズれる可能性がある |   |  |
|------------------|---|--|
| 傾斜のある床           |    | スロープなどの傾斜面には、垂直に立てることができないため、十分な固定ができません。              |
| 簡易補強した床          |    | 床と下固定盤の間に補強板を挟むと、板がズれる可能性があります。                        |
| 段差のある床           |   | 下固定盤の一部しか床と接しないため、突っ張り強度を確保できなかつたり、滑り止め効果が低下します。       |
| 表面が崩れやすい床        |  | 表面素材が劣化し、崩れやすくなっている床には設置しないでください。                      |
| マットなどを敷いた床       |  | マットなどの固定していない絨毯、毛足の長い絨毯、座布団などの上に設置すると、敷物ごとズれる可能性があります。 |
| 柔らかい床            |  | クッション性のある床やマットの上などでは、十分な固定ができません。                      |
| 滑りやすい床           |  | ワックスの効いたフローリングなどでは、滑り止め効果が低下します。                       |
| 土間               |  | 砂、土、砂利などがあると、滑り止め効果が低下します。                             |
| 経年劣化した床          |  | 床全体や畳などの強度が低下していると、十分な固定ができません。                        |
| 水がかかる場所          |  | 下固定盤に水がかかると、滑り止め効果が低下します。                              |

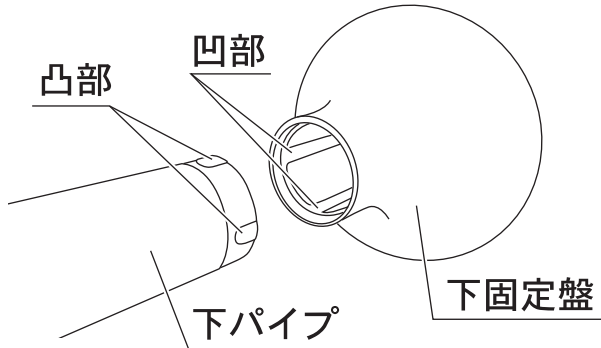
### ⚠️ 注意

- 床材の種類によっては跡が残ったり、すべり止めシートの色が付着する場合があります。

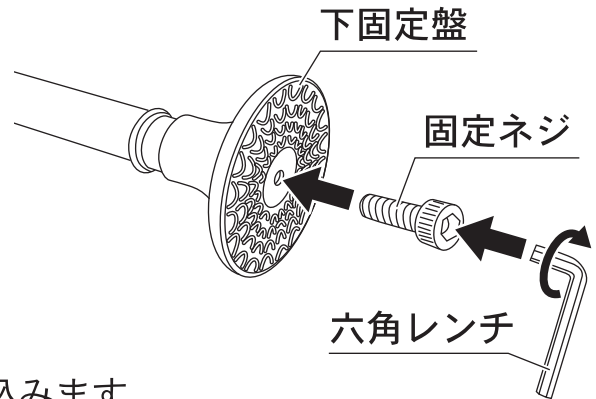
# 組み立て方

## ■下固定盤の取り付け方

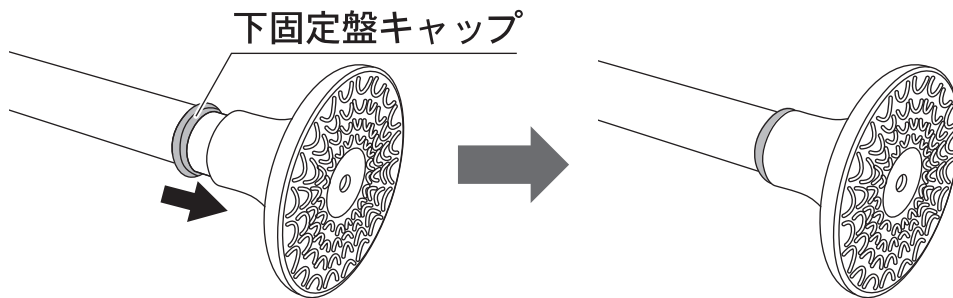
**1** 下固定盤の凹部に下パイプ先端の凸部を合わせて挿入してください。



**2** 下固定盤の底面の中央の穴に固定ネジを入れ、六角レンチでしっかりと締めてください。

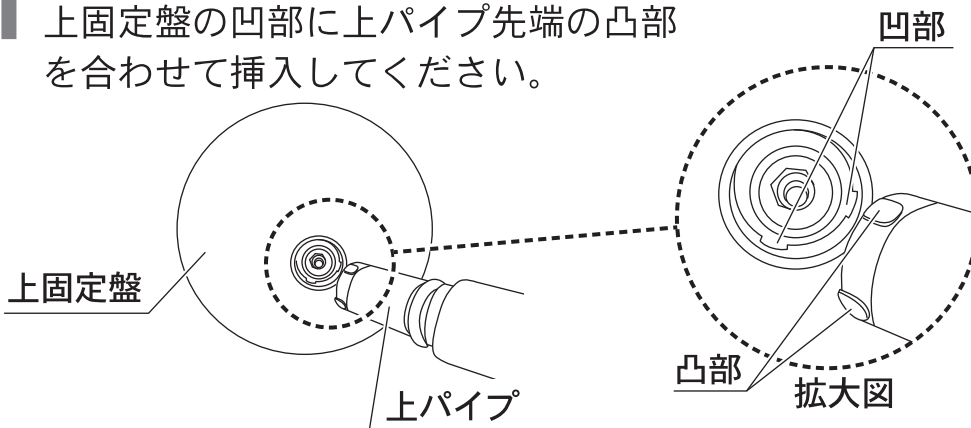


**3** 下固定盤キャップを下固定盤上部にはめ込みます。

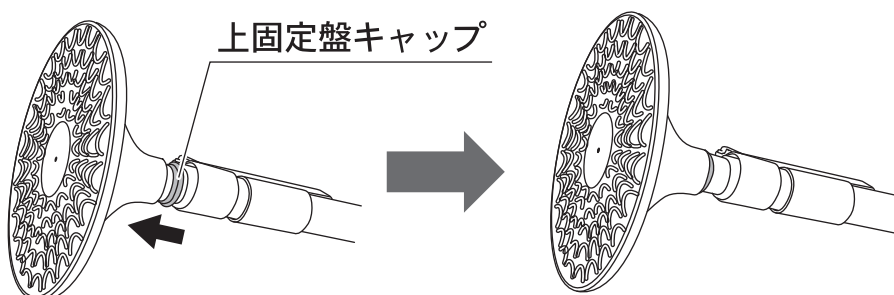


## ■上固定盤の取り付け方

**1** 上固定盤の凹部に上パイプ先端の凸部を合わせて挿入してください。



**2** 上固定盤キャップを上固定盤下部にはめ込みます。





## 設置前の注意

- 固定盤の滑り止めシートの劣化がないことを確認してください。  
滑り止めシートが、キズや摩耗など、劣化している場合は、早めに固定盤ごと交換してください。本体がズレたり、はずれたりし、転倒などの事故につながるおそれがあります。  
※滑り止めシートは固定盤から取りはずせません。
- 設置場所（天井・床）の強度を確認してください。  
梁がなかったり、たわむなど、強度の弱い天井や床に設置すると、天井や床が破損することがあります。
- 設置場所（天井・床）の劣化がないことを確認してください。  
経年劣化による強度の低下、壁紙やクロスの劣化、湿気・油脂・ヤニなどによる粘着性などで、天井や床が汚れたり破損することがあります。
- ベッド周りに設置する場合は、ベッドが固定されているか確認してください。  
ベッドが動かないよう、折りたたみベッドやキャスター付ベッドは、かならずロックしてください。ベッドが動くと、転倒などの事故につながるおそれがあります。

## 設置方法

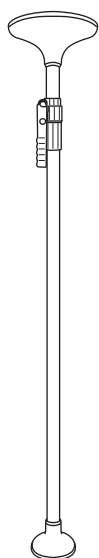
- 本製品の設置は、かならず2人以上で行ってください。
- 手順に従わず設置した場合、本体がズレたり、はずれたりし、転倒などの事故につながるおそれがあります。かならず手順通りに設置してください。
- 身体の一部が挟まると重大事故につながる場合があります。適正なすき間を空けて設置してください。
- 転倒、転落した場合も想定して、身体が挟まれないよう、すき間を空けて設置してください。

### ■設置前の確認項目

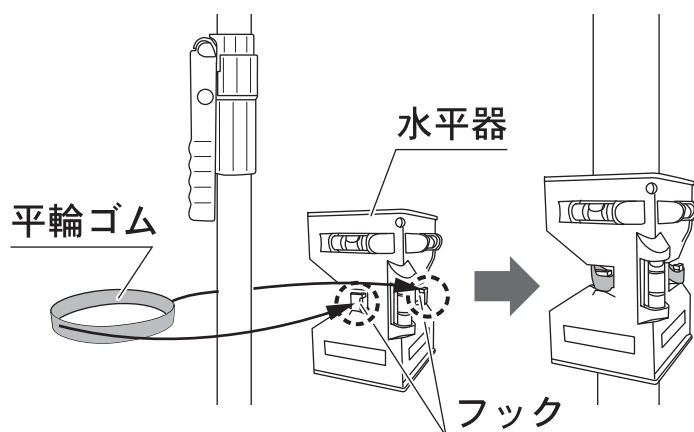
- 1 対応天井高さは 1m80cm～3mです。かならず天井から床までの高さを確認してください。
- 2 天井と床のほこりや汚れなどを取り除いてください。

### ■本体の設置

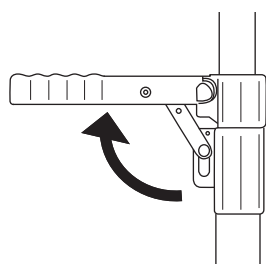
- 1 設置場所に本製品を置いてください。  
※大きい固定盤が上（天井側）、小さい固定盤が下（床側）になるようにしてください。



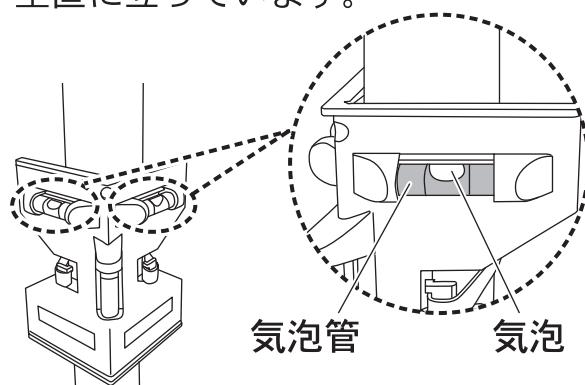
- 2 下パイプに水平器を取り付けてください。水平器の左右端中央のフックに平輪ゴムを引っかけて、下パイプに固定します。



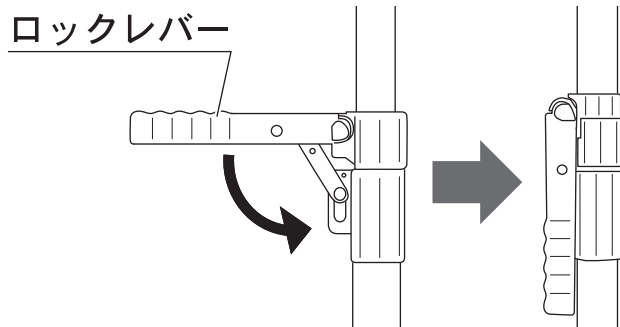
- 3 ロックレバーを直角に開いて、上固定盤を天井に当たるまで伸ばします。



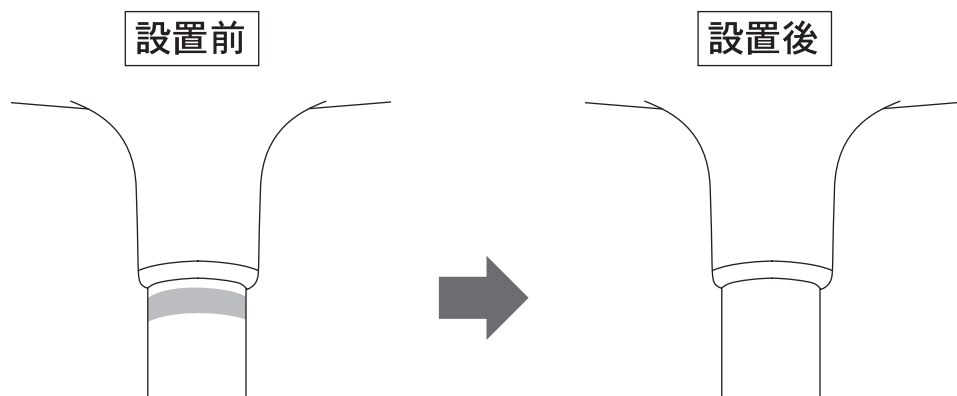
- 4 本体が垂直に立つよう調整します。水平器の正面と側面の2つの気泡管の中央の枠内に気泡が入れば、垂直に立っています。



**5** ロックレバーを下におろし、上パイプを固定してください。

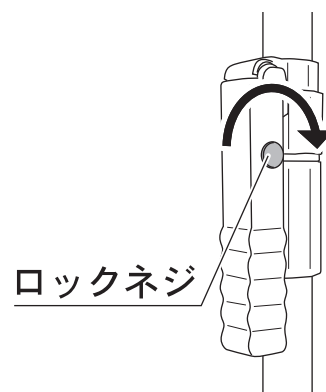


**6** 上パイプの赤ラインがかくれていることを確認してください。  
※赤ラインが見えている場合は、突っ張り強度が不足しています。  
再設置してください。



**7** ロックレバーにロックネジを取り付け、時計回りの方向へしっかりと締めて、ロックレバーを固定します。

※ **4** の手順で本体が垂直であることを確認してから、水平器を取りはずしてください。



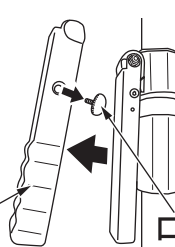
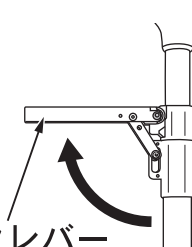

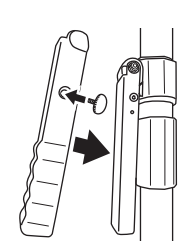

**⚠ 注意**

- 上パイプを伸ばすときは、かならずロックレバーを直角に開いてください。少しでも閉じると抵抗が大きくなります。
- 本体が斜めに設置されていると危険です。かならず垂直に立っていることを確認してください。
- 過度な力で押しつけて設置しないでください。天井が破損するおそれがあります。

## 設置後の注意

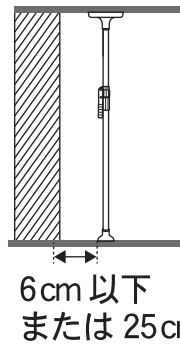
### ■設置後の点検

安全に使用するために、設置完了後、下記の項目をかならず確認してください。本体がズレたり、はずれたりし、転倒などの事故につながるおそれがあります。

|   | 点検項目      | 対 応  |
|---|-----------|--|
| 1 | 本体のぐらつき   | 製品の各箇所を点検し、異常がないことを確認してから使用してください。<br>異常がなくても改善しない場合は、ご購入販売店または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。  |
| 2 | 本体の垂直設置   | 斜めになっている場合は、水平器を使用し再設置してください。  |
| 3 | 上パイプの赤ライン | 赤ラインが見えている場合は、突っ張り強度が不足しています。再設置してください。  |
| 4 | ロックレバーの固定 | ロックレバーをおろし、ロックネジをしっかりと締めつけ、ロックレバーが固定されていることを確認してください。  |
| 5 | 上パイプのすべり  | <p>ロックレバーを下におろし、ロックした状態で上部パイプにぶらさがるようにして力を入れ、上パイプが固定されていることを確認してください。<br/>上パイプが滑る場合、次の方法でロック部のネジを締め直してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①ロックネジ・レバーカバーを取りはずしてください。</p>  <p style="text-align: center;">レバーカバー      ロックネジ</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>②ロックレバーを上にあげ、ロックを解除してください。</p>  <p style="text-align: center;">ロックレバー</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>③10mmスパナなどで六角ボルトの頭を固定しながらナットを締めてください。</p>  <p style="text-align: center;">六角ボルト      ナット</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>④ロックレバーを下におろし、レバーカバー・ロックネジを取り付けてください。</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>⚠注意</b>.....</p> <p>強く締めすぎると、上パイプの動きが硬くなります。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>⑤ロックした状態で上パイプが滑らないことを確認してください。</p> <p><b>⚠注意</b>.....</p> <p>ロックレバーが動かないようロックネジを取り付けた状態で行ってください。</p>  </div> |

## 周辺環境の確認

- 1** 壁面やベッドなど周辺機器との間に、適正なすき間を確保してください。6cm以下または25cm以上になるように設置してください。身体の一部が挟まると重大事故につながる場合があります。転倒、転落した場合でも、身体が挟まれないよう設置してください。



- 2** 天井の角や端は強度が弱い場合がありますので、少し離して設置してください。また、天井が浮いていないことをかならず確認してください。

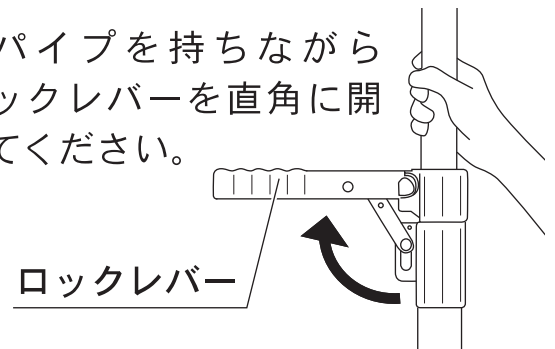
## 取りはずし方

- 本製品の取りはずしは、かならず2人以上で行ってください。

- 1** ロックレバー側面のロックネジを反時計回りの方向へ回してはずしてください。



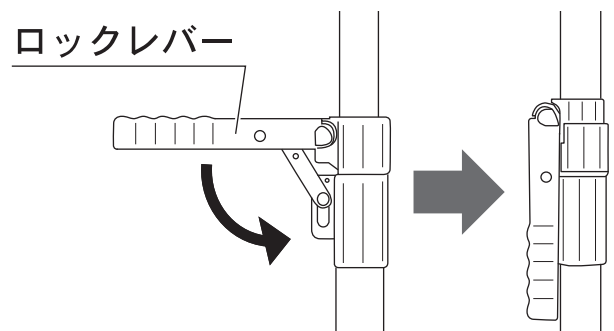
- 2** 上パイプを持ちながらロックレバーを直角に開いてください。



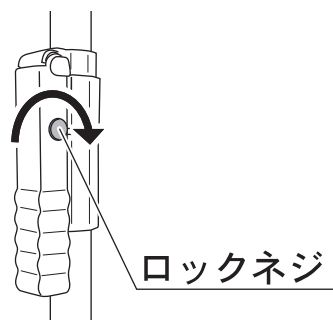
- 3** 下パイプを支えながら、上パイプをゆっくりおろしてください。



- 4** ロックレバーを下におろし、上パイプを動かさないようにしてください。



- 5** ロックレバーにロックネジを取り付け、時計回りの方向へ回して、ロックレバーを固定します。



### ⚠ 注意

- 天井の材質によっては、上固定盤が天井に貼り付き、はがれにくくなる場合があります。急な落下に注意してください。
- 設置前の本製品を壁に立てかけたり、立てたままで置かないでください。本体が倒れて、本製品や周囲のものが破損する原因となります。

## 日常点検

- 安全に使用するために日常点検を行ってください。
- 地震のあとは、かならず点検を行ってから使用してください。
- 下記の異常がある場合は、対応策を実施してから使用してください。  
そのまま使用を続けると、本体がズレたり、はずれて転倒し、ケガをするおそれがあります。

|   | 点検項目                | 対 応   |
|---|---------------------|---|
| 1 | 本体にぐらつきはありませんか？     | 製品の各箇所を点検し、異常がないことを確認の上、再設置してください。<br>異常がなくても改善しない場合は、ご購入販売店または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。 |
| 2 | 本体は垂直に設置されていますか？    | 斜めになっている場合は、水平器を使用し再設置してください。   |
| 3 | 上パイプの赤ラインはかくれていますか？ | 赤ラインが見えている場合は、突っ張り強度が不足しています。再設置してください。   |
| 4 | ロックレバーは固定されていますか？   | ロックレバーをおろし、ロックネジをしっかりと締めつけていることを確認してください。   |

## 異常事態の対処法

異常が生じた場合は、下表にしたがって点検してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご連絡してください。

| 異常内容        | 点検項目                                | 対 応   |
|-------------|-------------------------------------|---|
| ロックレバーが開かない | ロックネジをはずしていますか？                     | ロックネジをはずしてください。<br>(P9～10「設置方法」)  |
| ロックレバーがおりない | 対応天井高さを超えていませんか？                    | 最長の対応天井高さは3mです。<br>(P4「各部の名称と製品仕様」)   |
| 上パイプが伸ばせない  | ロックレバーを直角に開いていますか？                  | ロックレバーを直角に開いてください。<br>(P9～10「設置方法」)   |
|             | 対応天井高さを超えていませんか？                    | 最長の対応天井高さは3mです。<br>(P4「各部の名称と製品仕様」)   |
| 上パイプが固定できない | ロックレバーをおろし、ロックネジを締めていますか？           | ロックレバーをおろし、ロックネジを締めてください。<br>(P9～10「設置方法」)  |
|             | ロックレバーが固定されているのに、上パイプを押し下げると滑りませんか？ | ロックレバー回転部ネジがゆるんでいる可能性があります。<br>(P11「設置後の注意」)  |
| 本体がぐらつく     | 製品の各箇所を点検し、異常がないことを確認しましたか？         | ご購入販売店または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。   |
|             | 上・下固定盤が設置面と平行になっていますか？              | 組み立てをやりなおしてください。固定盤の凹部とパイプ先端の凸部が合っていない可能性があります。<br>(P7「組み立て方」)                                  |
|             | 上パイプの赤ラインはかくれていますか？                 | 再度設置してください。<br>(P9～10「設置方法」)<br>突っ張り強度が不足しています。<br>※同じ場所で再設置しても改善しない場合は、天井や床の強度が不足している可能性があります。 |
|             | 本体は垂直に設置されていますか？                    | 斜めになっている場合は、水平器を使用し再設置してください。<br>(P9～10「設置方法」)  |

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、  
ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。  
そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品をほかの方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡してください。

ココロ、ヨロコブ、テイコブ

**Tacaof**